

yamabuki i 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No. 9 5
平成 19 年 12 月 10 日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

年度更新

学年が上がってクラス替えをするとき、いろいろな情報を新しいクラスに持ち越すために、処理が必要です。保健で使っている「えがお」でも、新しい学年になるときに、個人のデータを新しいクラス別に分けます。これを、「年度更新」と言います。

パソコン室でも、個人がクラス別に管理されているアプリケーションでは、この年度更新を行います。

パソコン室にあって、個人を登録して管理できるアプリケーションには、

- ・ TDKソフト(漢字大工さん)
- ・ ハイパーキューブねっと Jr. 2 (メールや作品)
- ・ ジャストスマイル
- ・ WinBird (パソコン室のネットワーク管理)

などがありますが、現在個人が登録されているものは、漢字大工さんとハイパーキューブねっと Jr. 2 の二つです。

漢字大工さんでは、それまでの練習記録を持ち上がります。また、ハイパーキューブでは、メールデータを持ち上がります。

作品データを個人で管理することは、保存の確認や、保存されたものの意図しない更新、低学年での適切な管理に不安があるなど、トラブルに繋がることもあるので、現在は作品ごとにフォルダを作って、バックアップなどの管理をしています。

クラス替えがない、あるいは、二クラスぐらいでしたら、年度更新もドラッグ&ドロップで行えるので楽ですが、4クラスになるとかなり面倒です。

二つの(前年度と新年度)名簿データを見比べて、新年度に移行するための臨時データを新たに作る必要があります。

二つのアプリケーションでは、名簿の管理の仕方が異なっていますので、それぞれに別の年度更新の処理が必要です。

こういった煩雑な年度更新処理については、パソコン室に詳細なマニュアルが備えられています。また、そこに気をつけたいことなどコメントも書き込んでありますので、読みながら行えば、できます。年に1度のことなので、覚えなくてはならないものではないでしょう。